



今年もみんなで楽しもう♪

障がいのある人もない人も、みんなで楽しむ市民のまつり

ほかほかふれあいフェスタ2025

10月11日(土) 10:00~15:30

あじさい会館・ウェルネスさがみはら前広場

★あじさい会館では、作品展示をはじめ、ワークショップや障がい者スポーツ体験を、また、ホールではダンスやコーラスなどのステージをお楽しみいただけます。

★ウェルネスさがみはら前の広場では、焼きそばや日用品、自主製品の販売などを、広場ステージではバンド演奏など、楽しいイベントが盛りだくさんです♪



ポスター作成：
さがみはら若者サポートステーション
ほかふれプロジェクトメンバー

健康フェスタとパラスポーツ体験会との同時開催！

於：ウェルネスさがみはら&けやき会館

*当日のボランティアさんも大募集しています。

詳細は4ページをご覧ください。

ボランティア協会も

ウェルネスさがみはら前広場のブースに参加します。

*玉こんにゃく(3個/100円)

*インド人のアーティストによる似顔絵(300円)

*ガチャガチャ(1回/100円)

お待ちしております♪

秋講座のお知らせ！

外出支援！！ 運転ボランティア講座 車の運転が好きな方大募集！！

11月14日(金) 14:00~16:00

市立あじさい会館6階 第1展示室

当協会の活動のひとつである「福祉有償運送」では、ハンディキャブ号や個人所有の車両を活用し、一人では外出が困難な方の外出支援を行っています。しかし近年、運転ボランティアの人数が減少する一方で、ニーズは高まっており、運行の調整に苦慮しているのが現状です。

そこで、活動にご協力いただける仲間を増やすため、「運転ボランティア講座」を開催いたします。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

会員の皆さまには講座案内のチラシをぼらんていあ通信に同封させていただいています。お知り合いの方に、ぜひお声掛けください。



詳細は当協会 HP で

運転ボランティア研修会

～ハンディキャップ活動を～



9月13日(土)市民会館2階の会議室でハンディキャップ(HC)委員会主催のHC運転ボランティア研修会が開かれました。昨年は福祉車両の入れ換えもあり3回の研修がありました。今年度は一回目。運転ボランティアの皆さんのほか、ボラ協の恒藤会長、荒谷理事、白倉HC管理理事、HC委員会、事務局と出席予定の21名が定刻5分前には揃い、さすが運行時刻を大切にしているハンディキャップの運転手さんたちの研修会です。

今回の目的は、来年2月に予定されている当協会の福祉有償運送事業の国土交通省への届出更新に向け、運転手さんたちにこの事業の運営体制・管理面の一端を理解していただき、ご協力を仰ぐというものです。ボランティアの運行は、ただ送迎するだけでなく運行前後のアルコールや体調チェック、距離・時間等の運行日誌の記入などたくさんの方の安全運行管理が行われており、届出更新申請には運転手の皆さんの協力が不可欠なのです。



運転するときの注意点など、とても参考になるDVDを熱心に視聴する皆さん



(杉崎)

研修会は加藤HC委員長のあいさつに始まり、①めざそうNEERO～従業員の交通事故を防ぐ心得
②防衛運転 7つのポイント
2本のDVDの視聴と内容の補足説明、安全運転のための資料、車椅子操作の注意点などの紹介がありました。
休憩後、事務局処理に変更のあった福祉車両の連絡、次に運転手さんに最近困ったことや迷ったことなどを出していただき、解決に向けての考え方や方策を運転手さんや事務局から話す時間が設けられました。恒藤会長の言葉で最後を締め、研修会は終了しました。
その後夕刻から相模原駅近くでHC活動をさらに盛り上げようと懇親会も開かれました。
三連休の初日に集まってくれたさった運転手さん、研修に向けて準備を進めてくれたさったHC委員さん、事務局さんに感謝したいと思います。

クイズに挑戦

漢字クイズです。

5つ並んだ漢字のうち、4つを使って四文字熟語を作ってください。漢字は順番がバラバラになっています。

(例) 鳥 島 石 一 二

答えは 一石二鳥 (いっせきにちょう)

さあ、問題です！

- ① 三 三 四 五 五
- ② 若 然 自 他 泰
- ③ 歌 面 綿 四 楚
- ④ 千 日 春 一 秋
- ⑤ 化 百 変 千 万



*答えは5ページ

10月の記念日は？

小倉義男

10月22日は、ドリップコーヒーの日です。

神奈川県横浜市に本社を置き、コーヒーなどの通信販売を手がける株式会社ブルックスが制定。誰でも簡単に美味しく入れられるドリップバッグコーヒーの良さを多くの人に知ってもらうのが目的。日付は秋が深まりよりドリップコーヒーが美味しくなる時期と、10と22を「ド(10)リップコーヒーを、ふう～ふう～(22)しながら飲んで、心も体も温まってもらいたい」との思いから。

【出典(一社)日本記念日協会より参照】

確かにコーヒーが美味しくなる季節ですね。

小倉画



ボランティア活動グループ訪問記

ボランティア活動グループ訪問記

「音」で届ける文字情報

相模原市録音奉仕会 ひばり

CDに録音して届ける音のボランティア



昭和53年に設立。市社会福祉協議会に所属する録音奉仕会ひばりはボツ協よりも長い歴史あるボランティア団体です。視覚の障がいのある方々に市内のいろいろな広報紙や情報誌、本など文字で書かれたものを読み上げてCD録音、届けるという活動を続けていらつしやいます。あじさい会館の4階の録音室が主な活動の場。その様子を会長の江田博江さんの案内で取材させていただきました。

訪問した8月25日はいつもあるグループの中の「広報さがみはら10月号」担当の皆さんが9月1日発行を目指して活動する1日目でした。相模原市から10月号、11月号と毎月委託されているもので、市から届いた印刷前の原稿(版下)の指定された部分を録音、発送まで行う期限があるもの。

今日はアールのある作業室で、録音歴40年のベテランから初めての録音に臨む方まで11名で読む



録音奉仕会のパネルと江田さん

記事を分担し、録音に向けて細かく検討する作業が始まっています。広報の記事をただ割り振るのではなく、読み読まないフリースとしてどこで切るか、略号

記号の扱い、固有名詞のアクセントなど、意見を出し合つて時には声に出して読み上げ、一つ一つ確かめ、皆さんの手元の「コピー原稿は赤や青、マーカーなどびっしり書き込まれていきます。そばで見ていると集中力と真剣さがひびいて伝わってきます。文字を目で読んでいると意識しないような紙面内に配置された情報を、語順を変え、助詞や言葉を加え、「聞いてわかる」ようにする技術に感心するばかりでした。



原稿の割り振り意見を出し合つて

午後、新人の方の読み上げの録音を見せていただきました。録音室のマイクの前で原稿を読むと録音則室で先輩方がモニターしています。アクセントの違いや語尾の癖、次の言葉によって変わってくる発音の上がり下がりなど何度も止めてやり直し。言わなければならない流しとしてしまつほどの微妙な違いも指摘されます。元アナウンサー職という江田さんでも「この録音奉仕会はこれまでの中で一番指摘が厳しい」とおっしゃるほど。

ベテランの方たちはそれぞれ自宅でパソコンを使って録音、3日目には録音データを持ち寄り、別の方が誤読等ないかモニター、指摘部分を訂正録音し再度モニター。最低でも3回のモニターを経てOKの出たものを繋ぎ、通しモニターをした上でマスターCDに仕上げるとのこと。これらの作業はすべて専用ソフトを使って行われるそうです。

そして4日目、広報課から委託された枚数(80枚以上)をタビリングし視覚障がい者用郵袋で読者(利用

者)のもとに9月1日に届くように発送されます。短期間に凝縮して仕上げる作業はプロフェッショナル!

休憩中に何人かの方にお話を伺いました。

・広報の募集を見て入会。思ったより技術がいることに驚きました。厳しい研修でしたが残った方たちで役に立つまで頑張ろうと励まし合っていました。

・知り合いがいたので、自分も人の役に立ちたいと入会、10年も経ちました。最近年齢で声が思ったようにならないのが悩みです。

・新型コロナウイルスで活動に自宅での録音が増えました。一人でパソコンに録音するのは心細いときもあります。録音室で人のモニターをするのはとても勉強になります。

・自宅での録音は自分のペースでできます。何気ない日本語の難しさを感じ、普段からの言葉への意識が変わりました。

今回は「広報さがみはら」でしたが、「健康相模原」「市議会だより」など市からの受託、利用者の方の希望で小説の録音盤づくりや対面での音訳などもしているそうです。また、初心者への講座のほか外部講師を招いて年に1、2回勉強会もしているという、奉仕会の皆さんの向上心、良いものを届けようという熱意を目の当たりにし感銘を受けた取材でした。

(小川・杉崎)

相模原市録音奉仕会ひばり

〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20

あじさい会館2F

Email sagamihara.rokuhou1978@gmail.com

会長 江田 博江



理事会報告

9月18日(木)(理事の名出席)

一、報告・連絡事項

〈広報委員会〉

・ボラ通8月号を8月26日に発行。

〈事務局委員会・HC委員会〉

・秋講座で話す利用者、運転者を決める予定。

〈HC委員会〉

・運転者研修会を9月13日に開催し、21名が参加。

〈講座検討委員会〉

・秋講座の内容、チラシの配布方法について検討した。

〈傾聴委員会〉

・傾聴ボラ活動の情報交換会を11月28日に開催。

〈映像企画実行委員会〉

・HC活動紹介の動画制作を取り進めている。

〈その他〉

・ボウリング大会の反省会を行った。来年度は交流ボウリングを6月・子どもボウリングを8月に開催で検討する。

・「ほかほかふれあいフェスタ」への出店準備状況を確認した。

・「市民さくら祭」は来年4月4日～5日に開催。

・けやき体育館のコート半面を借用してバザーを開店。半面は車いすバスケット大会の予定。

二、審議事項

〈協会の規定〉

・役員の交通費の扱いについて継続審議する。

〈その他〉

・「あじさいフェス2026」は来年6月6日～7日に開催予定であり、ボランティア協会も参加の方向で検討する。

次回理事会 10月16日 午後1時30分から

相模原ボランティア協会 10月の予定

日	時間	内容
6(月)	13:00～	ぼら通部会
	13:30～	ほかふれ・ロビー展示 ～11日
9(木)	10:00～	講座検討委員会・映像企画実行委員会
11(土)	8:30～	ほかほかふれあいフェスタ
16(木)	13:30～	理事会
18(土)	13:00～	事務局委員会・ハンディキャップ委員会合同会議
21(火)	10:30～	ぼら通10月号印刷
	13:30～	ぼら通10月号発行

～ほかふれフェスタ当日の

ボランティアさんを募集しています!!～

日時：10月11日(土) 8時30分～16時30分

場所：あじさい会館・ウェルネスさがみはら前広場

内容：会場設営準備、案内誘導、イベント補助、設備片付け

＊当日8:30にあじさい会館1階ロビーに集合してください。
担当と進行を確認します。

＊半日の参加や数時間の参加でも構いません。

＊10月3日(金)までの募集となります。

＊昼食は各自でご準備ください。

連絡・問い合わせ

・相模原ボランティア協会あじさい連絡所

電話 042(759)7982

・相模原市社協 中央ボランティアセンター

電話 042(786)6181

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



あら ほんぞう？

くちや嫌われるぞ～

隠れた能力を持つ動物たち

地球上で最も嫌われている生き物の一つといえはハゲワシだぞ。

俗称「ハゲタカ」は、他人を食い物にする強欲な者を意味する蔑称だ。そうした悪評も理解できなくはない。まず見た目からして、抱きし



めたくなるような愛らしさとは無縁だ。そして死んだ動物を主食とする上に、食べ方が気持ち悪い。死骸の口や鼻など、柔らかい部分からくちばしを突っ込むのだ。
しかし、ハゲワシがいなくなると、さまざまな問題が起きる。彼らは、腐りかけた死骸を猛スピードで平らげることによって病気が広がるのを防ぐ「自然界の掃除屋」だぞっだ！
＊ナショナルジオグラフィック7月号より

読者のひろば

ほらんていあ通信の皆さまへ、自由に語って
いただくコーナーです。

祭りの思い出

鈴木 陽子
すずき ひょうこ



先日、認知症予防に効果が期待される「回想法」についての勉強会がありました。テーマは「祭りの思い出」で、メンバーそれぞれが祭りにまつわる話を語り合い、大いに盛り上がり話は尽きませんでした。きくと皆さんも今、子どもの頃が浮かんでいるのではないのでしょうか。そこで、静岡県に生まれた私の「昔の浜松祭り」について話した事を書かせて頂きます。

浜松と言えば、浜名湖と館山寺温泉、うなぎバイ、浜松城、三ヶ日ミカン辺りまでは、知っている人も多いかと思いますが、子どもの頃の私には、親類が住んでいる浜名湖で毎日泳いだり、潮干狩りをした夏休みと、5月の風揚げ（ケンカ風）の練りの掛け合いを見に行くこと、そして、中田島砂丘に近い小学校ならでは、砂丘で行う春の遠足と運動会のこと、毎年の3大イベントでした。3大砂丘の1つと言われる観光地になっている中田島砂丘は、現在は5月のGWの風揚げの会場になっており、すっかり平坦になって、松林も防砂林の役目を終えたようですが、昔は砂丘入り口からは海は見えず、砂山を越えてもまた次の山が、と波の音だけで、暗くなった時は、宇宙の果てに迷い込んだように思える別世界でした。

春の運動会と遠足は、足が速くなっても、転んでも、という勝ち負けは時の運だし、いつものあぜ道でい

つものような遊びのようない日で、おにぎりは砂がついていても勿体ないから残してはいけない、ジャリジャリするけど、教室で勉強するよりずっといい、と誰も気にせずに、といった楽しい行事でした。

浜松祭りの風揚げは、城主に長男が誕生したら、「天下を取れ」という願いを込めて、大きな風を祝いとして空高く揚げたのが由来だと聞いています。だから、長男が生まれた家は、名前の入りの町独自の風を作り、皆に揚げて貰うことになり、大変な出費を伴う一族の名譽になるものでした。大空に自分の町の風が揚がり、風がより高く、また、風同士が絡みあったら互いに負けないように、と名譽と意地をかけているので、いつしか「ケンカ風」と言われるようになりました。風も4畳やら6畳やらもっと大きなものもあったのでしたが、その風糸も太く、大きな台車に巻いてあり、その台車の周りには、糸を操る町内の力持ちの者だけでなく、応援の法被姿の者達がトクロを巻くようにして、「ワッショイ、エンシヨ（遠州地方だからそう聞こえるのでしたが）」と威勢のいい掛け声が鳴り響きます。軍事工場で生まれたという小さなフッパのお囃子のような賑やかなリズムもアチコチから盛り上げます。

町同士の糸が絡み合ったりしたら大変です。町と町とのトクロ集団が入り乱れ、そこからビール瓶が割れる音や怒声が、見物人も一緒になって騒ぎ立てます。互いに自分の町の面子があるからヒートアップするしかありません。時には、怪我人や死者も、と聞いたこともあります。



クイズの答え

- ①三三五五（さんさんごご）
人や物が少人数ずつ散らばっている様子。
- ②泰然自若（たいぜんじじゃく）
どんなことにも動じず、落ち着いている様子。
- ③四面楚歌（しめんそか）
周囲が敵に囲まれている状態。
- ④一日千秋（いちにちせんしゅう）
待ち遠しくて一日が千年のように感じる事。
- ⑤千変万化（せんぺんばんか）
変化が激しく、さまざまに移り変わる事。

町同士の

「風糸に素手で触るな、ガラスの粉や破片が付いているから怪我するぞ。」と、風糸の切の合いに備えてそんな悪知恵もあったようです。

現在はそんな危険な事は禁止になっていて、法被姿には町内の許可証が必要で、世話役が、練りが整然と列になるように、もし、規則を守らない場合は翌年はその町は全て参加禁止に、とか。いざさか、私には物足りないのですが…。

空高く何十もの悠々と泳ぐものあり、ヒョロヒョロと危なげに舞う姿あり、その下で、威勢の良い掛け声やトクロの中の喧騒もありの、どこか、人生の儚さも混沌とも子どもなりに、うっすら感じていたのかな。と今にして思う今日この頃です。

ボランティアさん募集！

① 布製品作成のお手伝いボランティア募集！

障がい者施設で製作している布製品の下処理や仕上げをしてくださる方を募集しています。工房内での作業の他、ご自宅でもできる活動もあります。（自宅の場合はミシンが必要です）

日時：月～金曜日 午前 10 時 30 分～午後 3 時 30 分のうち都合の良い時間

場所：ありす工房（中央区横山 2 丁目 7-8）



② 「けん玉でつながる！障がいを知ろうセミナー」参加者募集！

障がい者施設で働く職員の方からのお話や、当事者の方との実際の交流を通して、障がいについて理解を深めることができます。講師は「就労継続支援 B 型事業所もしかめや」の皆さんです。けん玉を通して楽しく交流しましょう！必ず活動する必要はありません。お気軽にご参加ください！

日時：10月20日（月）14時～15時30分

場所：あじさい会館 6 階ボランティア活動室

※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042（759）7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042（786）6181

FAX 042（786）6182

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



《今月のイラスト

…瞑想してます》

山口尚美画



よつやく秋の気配が感じられるようになり、だんだんと夜が長くなってゆくこの時期、思い出すのは若山牧水の『白玉の歯にしみとほる秋の夜の酒はしづかに飲むべかりけり』の歌。この「白玉」は真珠のように美しい雫酒の雫のことだと、古稀を過ぎるまで知らなかった。

それまでは（冷たい白玉団子が歯にしみる頃になったので冷酒は歯にしみないようにつくり飲むのが良い）という意味だと思い、この歌に遇ったびに（そろそろ歯医者に行かなきゃ）と焦ったものだ。これを短歌仲間と話したら「あなたらしいわね」と大笑いされた。

本来の意味を識った今では、人生の深い味わいを知る大人が、一人で静かに酒を飲むことの趣きに共感できる。今夜はこれまでの人生をしみじみと振り返りながらホット「コア」でも飲むことにしよう。

（川）

編集後記

ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切にさせていただきます。

<8月の寄付者>

佐藤一春様他3名の方からご寄付をいただきました。

<8月の寄付金>

総額 31,460 円でした。